

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)
定価 1部 110円 (税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ <http://www.jimin.jp/>

TOKYO自民党は、6月28日(日)告示・7月5日(日)投開票で行われる調布市長選挙にあたり、前都議会議員の林あきひろさんの推薦を決定し必勝を期しています。林あきひろさんは、「調布 新時代」へ臨む決意を力強く語っています。

林あきひろ



今を生きる 明日を担う あなたと共に

林あきひろ

「調布 新時代」へ 前進！ 前進！

「調布」は今、新しい時代を迎えようとしています。都市の利便性と豊かな自然がバランスよく融合した暮らしやすい街ですが、喫緊の課題である物価高騰と生活支援、激化する風水害や震災への備えから、人口構造の変化への取り組みや都市機能の再編への対応、市民の利便性向上に向けたDX(デジタル化)の推進まで多くの課題が山積しています。あすの「調布」が、強く、豊かで、やさしいまちであり続ける為に、これまで培ってきた経験、ネットワークをフルに活かして着実に前へ進めてまいります。

林あきひろ



01 子育てするなら やっぱり調布

妊娠期から青年期までの手厚い相談・支援を通じ、安心して子どもを産み育てる街へ。子育て世帯に選ばれるまちづくり。

- ◆学童クラブの拡充 ◆幼児教育・保育への助成金の拡充
- ◆修学旅行費補助の新設 ◆幼稚園や保育園の人材確保を支援
- ◆病児保育の充実 ◆大型電動自転車の駐輪場所を増設



02 ケア&サポート 健康長寿のまち調布

福祉介護のサービス基盤を支援するとともに、健康支援、生きがい就労などを通じた社会参加の取り組みを推進。

- ◆介護人材の定着支援策を推進 ◆地域包括ケア体制の機能を拡充
- ◆シルバー人材センターの積極活用 ◆家事支援サービスの拡充
- ◆フレイル予防支援の拡充



03 安全・安心 市民生活をまもる

地域、学校、警察が連携し、犯罪の起きにくいまちづくりを推進。また、地震や河川の氾濫から市民の命と財産を守る取り組みを強化。

- ◆特殊詐欺対策を強化 ◆老朽化インフラの計画的な長寿命化で都市の安全基盤を再構築
- ◆フェーズフリーに基づいた防災・減災施策を推進



04 市民の暮らしを豊かにするまちづくり

商工会等と連携し、地域経済活性化を推進し、職住近接の実現へ。日常生活の利便性向上のため都市基盤を着実に整備。

- ◆中小企業・小規模事業者への積極支援 ◆柴崎駅~つつじヶ丘駅間の京王線高架化の早期実現
- ◆京王多摩川駅へのエスカレーター設置および臨時口の常時開放を積極検討



05 市民サービス満足度No.1の調布へ

AIの積極活用と市庁舎のDX化推進により、「スマホ市役所」の実現と市役所業務の効率化を図ります。

- ◆スマホ、パソコンから市役所の各種手続きのできる「スマホ市役所」を推進。
- ◆AI活用による業務効率化の推進 ◆市庁舎のDX化による職員の働き方改革の推進



林あきひろ プロフィール



【経歴】 昭和35年生。熊本市生まれの東京育ち。明星大学卒業(自動車部主将)。損害保険会社勤務を経て独立開業。調布市商工会青年部(部長)、調布青年会議所(理事)、調布市立第一小学校おやじの会(初代会長)などを歴任。現在も調布市内にスモールオフィスを構え、調布市商工会理事、武蔵府中法人会会計理事、調布地区防犯協会参与などを務める。

【市議】 調布市議会議員6期。第41代調布市議会議長を務める。布田在住の地元議員として、京王線地下化の際は行政と地域との連携構築に大きく寄与。調布市立第一小学校のスクールゾーン整備にも奔走し、実現へ。

【都議】 東京都議会議員2期。財政委員会委員長を務める。都道である松原通り拡幅の事業化や仙川の調節池(緑ヶ丘団地内)の事業化を実現へ。

【家庭】 調布市布田在住。妻、長女、長男の4人家族。



お問い合わせ先 **林あきひろとあすの調布を語る会 事務所**

〒182-0024 調布市布田1-43-2 TEL.042-444-8871
谷中ビルS棟102 FAX.042-444-8872